

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	補習・進学教育産業の情報化戦略
Sub Title	
Author	福山優美子(Fukuyama, Yumiko) 古川公成
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1996
Jtitle	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001996-1295

学生氏名	福山 優美子	主査	古川 公成
		副査	高木 晴夫
			國領 二郎
所属	古川 公成 研究室		

補習・進学教育産業の情報化戦略

中学生をターゲットとしている補習・進学教育産業に焦点を当てて「教育産業における情報化戦略」を本研究のテーマとしている。情報機器を用いた教育という分野においては、同業他社だけでなく、他の産業からも情報能力を武器とした企業が競争に加わってきていることから、情報機器利用の仕方をいち早く掴むことが必要である。しかし、何の教育理念も目的もないまま情報機器を利用しても、競争優位を築くことのできる教育を提供することは難しい。

教育を取り巻く環境は、創造力と情報リテラシーを重視する方向に向かっており、また教育学的な見地からもそれは望ましい教育であるとされる。従って、「創造力・情報リテラシーの育成」に対応したサービス、商品の提供が90年代後半以降の教育産業の競争優位の鍵になるであろう。そして、現在の情報機器がその教育を実現するために有効な機能を持っていることが様々な角度から証明されたことから、情報機器を利用して創造力を育成することが教育関連企業の得策になると考えた。

しかし、創造力の育成も情報リテラシーの育成もなかなか教育方法の解明が難しく、ましてや情報機器を利用して創造力を育成することは困難を極めることが各企業のインタビューからも伺い知れた。だが、この教育こそが今後求められる教育となることは確かであることから、対応しないわけには行かず、各企業の試行錯誤はしばらく続くであろう。